

若き日の夢叶う

太美おじさんバンド

カントリーOJB (おじさんバンド)



向山 行雄さん 山田 諭さん 佐々木 健児さん 高岩 靖さん 柴草 良司さん 藤林 弘幸さん



昭和40年代から50年代はフォークソングが全盛期で、誰もが一度は聴いたことのある「名曲」がたくさんあります。当時、(若者世代)その影響を強く受け、音楽に興じた方も多いのではないのでしょうか? 町内で、若き日の夢を叶え音楽を楽しむ「おじさんバンド」が日々、練習に励んでいます。

バンド結成のきっかけは?

共通してメンバー全員が思っていたことは、若き日の音楽に対する想いが忘れられなかったことですね。柴草さんが趣味でバンド活動を続けており、昨年、西コミセンで演奏会に参加していたのを、他のメンバーが一般の参加者として聴いたのが始まりです。メンバーの半数は個人的な趣味でギターやドラムなどを楽しんでいましたが、やはり一人だと物足りなかった。「バンド」をやりたい。その思いから、柴草さんを中心に「太美おじさんバンド」を昨年11月に結成し、メン

バーが二人三人と増えていき今年の3月に念願のドラムを担当する佐々木さんが加わってからは、現在6名で活動しています。

活動内容は?

毎週火曜日の夜、西コミセンで練習をしています。物珍しいのか、毎回、住民の方が見学に来てくれます。逆に「いまの演奏はどうだった?」と感想を聞くこともあります。バンドとして演奏会に参加したのは、これまでに4回。町内の団体から声をかけていただき、演奏させていただきました。お客さんの前で演奏出来ること、聴いて頂いた方から「楽しかった。」と声をかけていただき、喜びを感じています。ずっと夢見てきたライブ演奏ですから、この感動は何物にも代えがたく、ずっと続けていきたいと思っています。あと、欲を言えばキーボードが弾ける方がメンバーに入ってくると嬉しいです。

やってみたいことは?

同世代の方で音楽に対する想いを持っている方は少なからずいると思います。新たなバンドが結成され、音楽を通じた交流や、合唱とのコラボレーション、オリジナル曲を作って発表したい。色々ありますが、地域の行事やイベントなど発表の場を見つけ、音楽の楽しさを伝えられるよう気合いを入れて練習しようと思います。下手な演奏にならないよう腕を磨き、住民の皆さんと一緒に音楽を楽しみたいです。

メンバーの皆さんは、「共通の趣味である音楽を通して、世代を超えた交流の輪の広がりにも楽しさを感じている」と教えてくれました。その語る目は青年時代にタイムスリップしたかのようにキラキラと輝いていました。「太美おじさんバンド」の演奏をまた聴きたいと思い取材を終えました。

(5月13日取材)